

# 一・二級小型船舶操縦士学科試験

## 一般科目 (問1～問50)

問題

受験番号

### 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

### 【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目 (問1～問50)	1時間10分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航 (問13～問50)	55分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

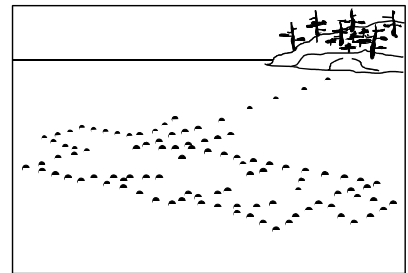
- (1) あらかじめ航行予定水域を調べて、浅瀬や暗礁などの位置を確かめておく。
- (2) エンジントラブルが起きても、簡単な修理は自分でできるようにしておく。
- (3) 水上で事故が起きて救助を求めても、救助者の到着には時間がかかることが多い。
- (4) 漁業やダイビングなどを行っている水域は、灯台によって見分けられるようになっている。

問2 大型船の一般的な特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ブリッジ(船橋)からは周りをよく見渡せるので、近くにいる小型船舶の動きがよく分かる。
- (2) 小型船舶に比べて舵効きが悪いため、舵を取ってから実際に針路が変わるまでに時間がかかる。
- (3) 緊急にエンジンを停止しても、すぐには停船することができない。
- (4) 狭い水道などでは、自船の針路を保つことに精一杯で、他の船舶を避けることが難しい。

問3 下図は、定置網が設置されている水域の、水面上の様子を示した略図である。このような漁具に対する注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 陸岸に向かって設置されている網のブイとブイの間は、高速で航行することができる。
- (2) 設置されている場所は、地元の漁業協同組合やマリナーなどに問い合わせれば分かる。
- (3) 定置網の中に入って釣りをする場合は、網やアンカーロープに注意する。
- (4) ブイに係留する場合は、複数のブイにロープをかけるようにする。



問4 プレジャーボートの海難種類と、その主な原因の組合せとして誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 運航不能(機関故障) …… 機関取扱不良
- (2) 衝突 …… 見張り不十分
- (3) 火災 …… 水路調査不十分
- (4) 乗揚げ …… 船位不確認

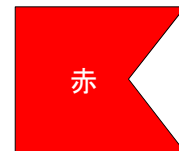
問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 船舶検査証書を自宅に保管して航行した。
- (2) エンジンを乗せ換え、臨時検査を受けて航行した。
- (3) 船舶検査手帳を船内に備えたまま航行した。
- (4) 船舶検査済票を両船側に貼り付けて航行した。

問6 右図の国際信号旗を掲げている信号の意味は、次のうちどれか。

ただし、赤は信号旗の色を表す。

- (1) 人が、海中に落ちた。
- (2) 私は、危険物を荷役中または運送中である。
- (3) あなたは、すぐ停船されたい。
- (4) 私は、潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。



問7 気象情報を確認する方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) テレビや新聞、ラジオなどを利用して当日の天気予報を調べる。
- (2) インターネットの気象情報サイトを利用して確認する。
- (3) その土地特有の気象現象や予測方法をマリナーなどで確認する。
- (4) 117番に電話をして気象庁予報部の気象情報を聞く。

問8 航行中に事故が起きた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 冷静になって事故の状況を確認する。
- (2) 救助要請が必要かどうかを判断する。
- (3) 負傷者がいないかどうかを確認する。
- (4) 船体の安全確保を最優先する。

問9 小型船舶の船長の遵守事項について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 同乗者が見張りをしていれば、船長は操船に専念して見張りをしなくてもよい。
- (2) 発航前には、機関や救命設備などを点検しなければならない。
- (3) 小型船舶のうち水上オートバイだけが、遊泳者の近くでジグザグ走行をしてはならない。
- (4) 港内を航行するときは、船長はもちろん同乗者も飲酒をしてはならない。

問10 特殊小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 15 歳
- (2) 16 歳
- (3) 18 歳
- (4) 20 歳

問11 小型船舶の登録に関する事務を行っているのは、次のうちどこか。

(小型船舶の登録等に関する法律)

- (1) 都道府県庁
- (2) 日本小型船舶検査機構
- (3) 船用メーカー
- (4) 国土交通省の地方運輸局

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ビニール袋は航行の支障になることはないので、水中に捨てるようにする。
- (2) 航行中にたまったビルジは、油水分離器で油分を取り除いてから排出する。
- (3) 生態系に与える影響を小さくするため、環境対応型のエンジンを使うようにする。
- (4) 切れたロープは、プロペラに巻きつくことがあるので、陸上に持ち帰り処分する。

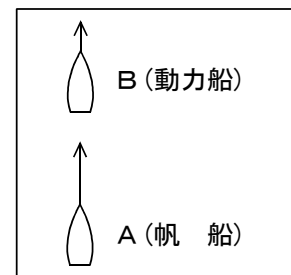
## 【交通の方法】

問13 衝突回避の動作が、「他の動力船の左舷側を通過することができるように針路を右に転じなければならぬ」と具体的に定められている航法は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

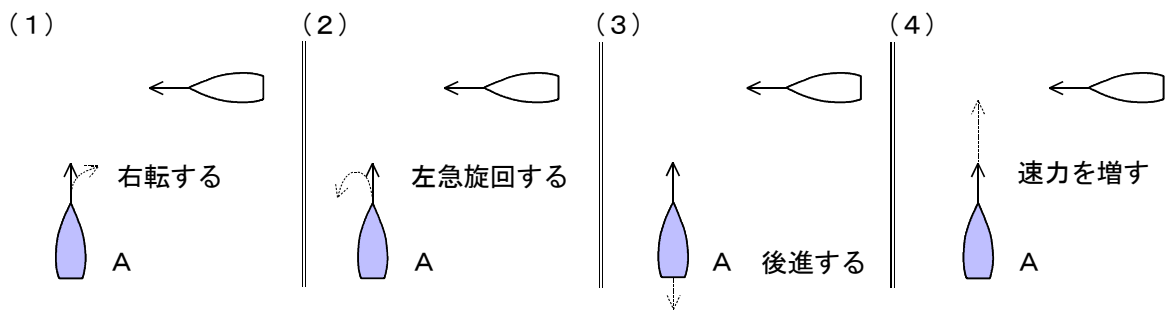
- (1) 行会い船の航法
- (2) 追越し船の航法
- (3) 横切り船の航法
- (4) 各種船舶間の航法

問14 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) Aは帆を縮めて航行しなければならない。
- (2) Bは機関を止めて停船しなければならない。
- (3) Aは早めに速力を落として航行しなければならない。
- (4) Bは針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。



問15 下図は、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、衝突するおそれがあるときのA船の動作の具体例を示したものである。やむを得ない場合を除き、A船がとってはならない避航動作は、図(1)～(4)のうちどれか。(海上衝突予防法)

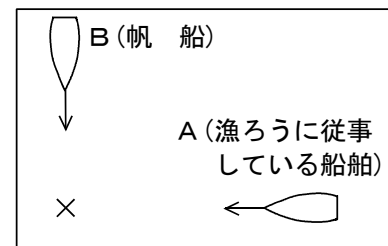


問16 避航船が適切な動作をとっていないことが明らかとなったため、保持船が避航船との衝突を避けるためにとった次の動作のうち、適切でないものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 左舷<sup>ひだり</sup>から近づいてくる動力船が全く避航動作をとらず、動力船である自船<sup>いちじぶ</sup>と著しく近づくおそれがあったため、これを避けようと左転した。
- (2) 自船を追い越そうとする動力船が針路をほとんど変更せず、自船と著しく近づくおそれがあったため、警告信号を発した。
- (3) 自船が漁ろうに従事している最中、右舷前方から動力船が急に近づいてきて危険な状態となるおそれがあったため、これを避けようと機関を後進にかけた。
- (4) 自船が帆のみを用いて航行中、正面から動力船が近づいてきて危険な状態となるおそれがあったため、これを避けようと右転し停船した。

問17 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。
- (2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。
- (3) Aは操業を一時やめて停船し、機関を停止する。
- (4) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。



問18 安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されていないものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

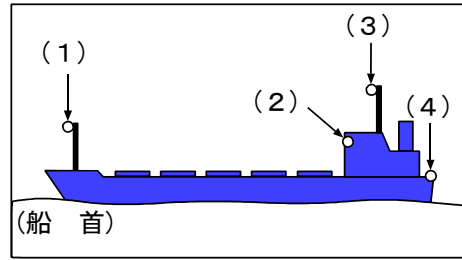
- (1) 燃料の残量
- (2) 視界の状態
- (3) 風、海面及び海潮流の状態
- (4) 船舶交通の混み具合

問19 右図に示すように、他の船舶を見ることのできない狭い水道等のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) できるだけ早く通過するように速力を上げた。
- (2) できる限り狭い水道の右側端に寄って航行した。
- (3) 機関をいつでも操作できるようにした。
- (4) 見張りをする者を増やした。



問20 右図は、夜間、航行中の長さ50メートル以上の動力船が表示している灯火を示したものである(正横方向から見えない灯火も図示してある)。長さ50メートル未満の航行中の動力船が表示しなくてもよい法定灯火は、図中(1)～(4)のうちどれか。  
(海上衝突予防法)



問21 小型の動力船で釣り場に向かい、目的地に到着後、<sup>びょうはく</sup> <sup>さおづ</sup> 錨泊して竿釣りをを行うことにした。このとき、表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。  
(海上衝突予防法)



問22 汽笛信号とそれを行う状況の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。  
(海上衝突予防法)

- (1) 短音1回 …………… 他船を避けるため、針路を左に転じている。
- (2) 短音2回 …………… 他船に針路を保つよう依頼している。
- (3) 短音3回 …………… 他船を避けるため、針路を右に転じている。
- (4) 急速に短音5回以上 …… 他船の衝突を避ける動作に疑いを持っている。

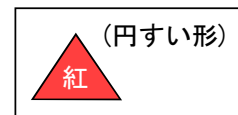
問23 船舶は、港内及び港の境界付近においては、どのような速力で航行しなければならないと定められているか。次のうちから選べ。  
(港則法)

- (1) 他の船舶に危険を及ぼさないような速力
- (2) 引き波を立てないような速力
- (3) 12ノット以下の速力
- (4) 周囲の安全確認が確実にできるような速力

問24 汽艇等の船長が港内でとった行動のうち港則法の規定に違反しないものは、次のうちどれか。

- (1) 航路内<sup>とうびょう</sup>で投錨し、航路を行き交う船を見学した。
- (2) 港の境界から500m外側に出たので、船内にたまっていたゴミを捨てた。
- (3) 防波堤の外側に設置された係船浮標に係留して釣りをした。
- (4) 航路の外側を航行して港外に出た。

問25 昼間、右図の標識を表示している船舶は、次のうちどれか。ただし、紅は標識の塗色を表す。  
(海上交通安全法)



- (1) 緊急用務を行うための船舶
- (2) 危険物積載船
- (3) 航路を横断中の船舶
- (4) 巨大船

問26 河川や湖沼<sup>こしやう</sup>における船舶の交通ルールについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 条例により、船舶の通航を制限している水域がある。
- (2) 河川法に基づき、船舶の通航方法を定めている水域がある。
- (3) 河川の河口付近では、海上交通安全法の航法が適用される水域がある。
- (4) 条例により、航行する船舶の騒音を規制している水域がある。

【運航】

問27 前進航行中、右舷船首すぐそばに発見した浮遊物を、キックの作用を利用してプロペラに巻き込まないようにするためには、直ちにエンジンを中立にするとともに、舵<sup>かじ</sup>をどのように操作するのが最も適切な操船か。次のうちから選べ。

- (1) 右舵<sup>てんた</sup>いっぱい
- (2) 中央のまま
- (3) 左舵いっぱい
- (4) 右、左交互に

問28 排水型の一軸右回り船が岸壁に着岸する場合、右舷着岸より左舷着岸のほうが操船しやすい理由として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 操縦席の位置にかかわらず、左舷側のほうがよく見えるため。
- (2) 船体は右よりも左へ旋回しやすい形状をしているため。
- (3) 行き足が低下すると、船首を左に向ける力がはたらくため。
- (4) エンジンを後進にかけると、船尾が左へ振れ岸壁に寄るため。

問29 トップヘビーとボトムヘビーの船舶の状態を比較した下表のうち、適切なものはどれか。

		トップヘビー	ボトムヘビー
(1)	重心の位置	高い	低い
(2)	横揺れ周期	短い	長い
(3)	復原力	大きい	小さい
(4)	旋回時の船体傾斜	小さい	大きい

問30 河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 川幅が急に広がっているところは、中央部が浅くなっている場合がある。
  - (B) わん曲部の外側は深く、内側は浅くなっている場合がある。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問31 曳航ロープの長さについて述べた次の文の(A)、(イ)の中に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下のうちどれか。

「通常、曳航ロープの長さは、引く船と引かれる船の長さの和の(A)程度が適切とされている。また、風波が強い場合には、ロープの長さを(イ)にしたほうがよい。」

- (1) (A) : 3 倍 (イ) : 長め (2) (A) : 3 倍 (イ) : 短め
- (3) (A) : 6 倍 (イ) : 長め (4) (A) : 6 倍 (イ) : 短め

問32 コンパスカードの読み方として、360度式と点画式てんかくしきの正しい組合せは、次のうちどれか。

- (1) 045度 …… SE (2) 135度 …… NW
- (3) 225度 …… SW (4) 315度 …… NE

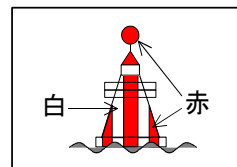
問33 海図上で距離を測る方法について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「2地点間の距離は、ディバイダーの2本の脚を広げて2つの地点に当て、次に( )にディバイダーを当てて値あたいを読み取る。」

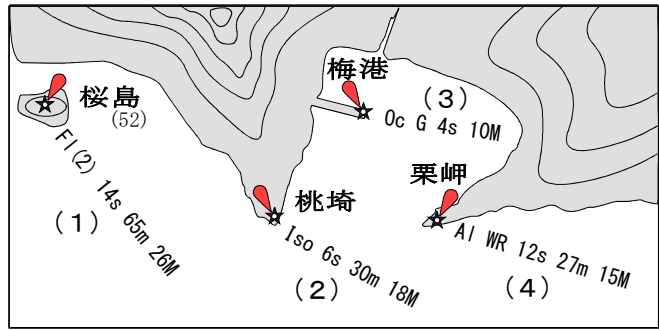
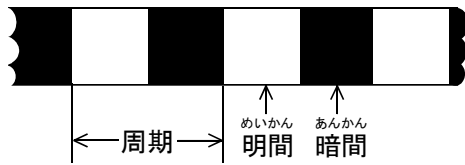
- (1) 経度尺 (2) 緯度尺 (3) 縮尺 (4) コンパス図

問34 右図に示す標識は、次のうちどれか。ただし、白、赤は標体の塗色を表す。

- (1) 右舷標識 (2) 左舷標識
- (3) 孤立障害標識 (4) 安全水域標識



問35 下図に示す灯質の灯台は、右図の(1)～(4)のうち、どの灯台を表しているか。

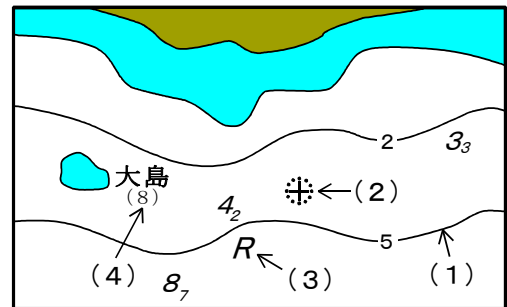


問36 海図に記載されている海岸線は、どの水面における海と陸との境界を示したもののか。次のうちから選べ。

- (1) 最低水面 (2) 平均水面 (3) 中間水面 (4) 最高水面

問37 右図は、海図の一部を示した略図である。図中(1)～(4)の海図図式の説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 水深50メートルの等深線を表す。  
 (2) 沈船を表す。  
 (3) 底質が「岩」であることを表す。  
 (4) 大島の高さが80メートルであることを表す。



問38 係留ロープを船内に導くとともに、係留ロープの損傷を防ぐための設備は、次のうちどれか。

- (1) フェンダー (2) バウアイ (3) フェアリーダー (4) スカッパー

問39 同じ太さの2種類のロープをつなぐには、どの結索方法が最も適切か。次のうちから選べ。

- (1) 巻き結び(クラブヒッチ) (2) 本結び(スクエアノット/リーフノット)  
 (3) 一結び(ハーフヒッチ) (4) 8の字結び(フィギュアオブエイトノット)

問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航しても支障がないものはどれか。

- (1) ハッチが閉じてある。 (2) エンジンルームが密閉してある。  
 (3) 自己点火灯が船倉にしまっていてある。 (4) スカッパーが閉じてある。

問41 一般的なガソリンエンジンの燃焼方式について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 空気と燃料油の混合気を圧縮し、圧縮熱で爆発させる。  
 (2) 霧状の燃料油を圧縮し、そこに高温の空気を噴射して爆発させる。  
 (3) 空気を圧縮して高熱を発生させ、そこに燃料油を噴射して圧縮熱で爆発させる。  
 (4) 空気と燃料油の混合気を圧縮し、そこに電気火花を飛ばして爆発させる。

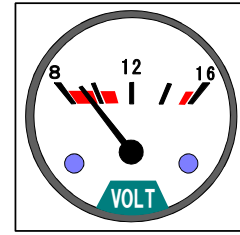
問42 発航前におけるエンジンの点検箇所と、その点検要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) Vベルト …………… エンジンから取り外し、損傷の有無を確認する。  
 (2) バッテリー …………… ターミナルの取付け状態、液量を確認する。  
 (3) 燃料油量 …………… 燃料タンクに、十分な量があることを確認する。  
 (4) エンジンオイル …… オイルレベルゲージにより、量や質の確認をする。

問43 ガソリンエンジン(船内外機)の始動方法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) リモコンレバーを前進の位置にして、スタータースイッチを入れる。
- (2) リモコンレバーを後進の位置にして、スタータースイッチを入れる。
- (3) エンジン始動後も、しばらくの間、スターターモーターを回転させる。
- (4) リモコンレバーの中立を確認して、スタータースイッチを入れる。

問44 ガソリンエンジンを運転中、電圧計が右図のような値を示した場合の原因として適切なものは、次のうちどれか。

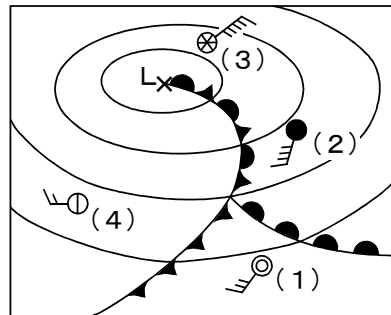


- (1) 点火コイルの故障
- (2) オルタネーターの故障
- (3) スターターモーターの故障
- (4) ディストリビューターの故障

問45 エンジンの日常点検において確認した次の事項のうち、正常でない状態はどれか。

- (1) エンジンオイルに水が混じっている。
- (2) 運転中のエンジンに異常な振動がない。
- (3) エンジンからの排気色に濁りがない。
- (4) 燃料フィルターが詰まっていない。

問46 右図は、日本付近における地上天気図の一部を示した略図である。図中の地点(1)～(4)の風向と風力の説明として正しいものは、次のうちどれか。



- (1) 南東の風 …… 風力3
- (2) 南南西の風 …… 風力4
- (3) 北東の風 …… 風力6
- (4) 北西の風 …… 風力2

問47 低気圧について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「北半球の場合、低気圧圏内では左回りの( )が生じて雲が発生し、雨や雪を降らせる。」

- (1) 上昇気流
- (2) 下降気流
- (3) ジェット気流
- (4) 乱気流

問48 潮汐について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潮汐とは、気圧の変化により海面が上下する現象をいう。
- (2) 相次ぐ二つの満潮(又は干潮)の時間間隔は一定ではない。
- (3) 通常、満潮と干潮はそれぞれ1日に1回ずつしか起こらない。
- (4) 干満の差は、上弦や下弦の月の頃に最も大きくなる。

問49 小型船舶の操縦について述べた次の文の(ア)、(イ)の中に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下のうちどれか。

「航行中に予期せず荒天となったときは風浪を(ア)方向から受けるように操船し、(イ)は舵の効く程度に調整する。」

- (1) (ア)：斜め船尾 (イ)：船尾喫水
- (2) (ア)：斜め船首 (イ)：船尾喫水
- (3) (ア)：斜め船尾 (イ)：速力
- (4) (ア)：斜め船首 (イ)：速力



問50 転覆して海上に投げ出され、漂流することになったときの一般的な心得として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 体力を温存するため、必要なとき以外は体を動かさない。
- (2) 泳ぎやすくするため、衣服を脱いで身軽になる。
- (3) 油やゴミから身を守るため、これらの風上側に移動する。
- (4) 発見されやすくするため、大きな浮遊物の近くに集まる。